

つまずいた若者の 立ち直りを支えるために

—当事者と語る「支援とは」—

日時・令和5年 2月23日（木・祝）午後2:00～4:00

●パネラーの皆さん●

さまざまな経験、失敗、挫折を乗り越えて、今は社会人として、また、支援者として明日に向かって歩いている方々です。今、振り返って思うこと、伝えたいこととお話しいたできます。

藤本賀彦さん

10代は暴走族にも参加。勉強は嫌い、薬物にも手を出し、早くに家を出てみたものの…。現在は仕事をしながら、子どもたちの学習支援や心理カウンセリング、保護司の活動をしています。



すずさん

複雑な家庭に育ち、兄の非行や生活保護を体験。現在は、助産師として活躍しながら、我が子の不登校の経験を活かし、地域で困難を抱えた母親や若者に関わっています。



伊波響生さん

親への反抗と学校生活の苦しさから非行への道を自分で選んだ。事件で保護観察となり遠方の学校へ。その後、刺青彫り師となって裏社会を体験。今は、医療と福祉の分野で困難な人を支える日々を送っています。



●コーディネーター 小笠原彩子さん (弁護士・NPO法人非行克服支援センター理事長)



申し込み方法：下記URLまたはQRコードの申込フォームからお申し込みください。

<https://ws.formzu.net/dist/S12788413/>

※Zoomミーティングにて実施します。

事前に参加可能な環境を整えた上でお申し込みください。



申込QRコード

申し込みいただくと自動返信メールが届きます。（届かない場合は下記アドレスにご連絡ください）その後、参加に必要なアドレス（URL）を、メールでお送りいたします。

申込〆切 2月16日(木) 参加費無料

- ・定員70名。先着順に受付。（定員になりましたら、受付を締め切らせていただきます）
- ・対象：青少年の立ち直り支援に関心ある方、我が子のことで悩んでいる方 等

※問い合わせ：NPO法人非行克服支援センター

電話 03-5348-6996 メール npo-ojd@cocoa.ocn.ne.jp



埼玉県のマスコット
コバトン

当イベントは埼玉県（担当課：県青少年課（電話048-830-2904））の主催事業です。